



純美

神崎中学校 学校だより 3月号

文責 校長 牟田 禎一
学校教育目標

「純美にしてファイトに富む学校」

←左のQRコードを読み取っていただくと、学校HPがご覧になれます。そこに学校だよりも掲載しています。

いよいよ春本番、寒い冬を耐え忍んだ草花が、春の訪れを感じ一斉に芽吹き始める時季となりました。また、鳥や虫も活動的になり、辺りが賑やかに動き始めます。



いよいよ令和4年度も最後の月となりました。保護者や地域の方々には、本校の教育活動に対しまして、ご理解ご支援を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

3年生を送る会

3月1日に、「3年生を送る会」を行いました。谷上生徒会長からの贈る言葉、生徒会からのクイズ、スライドショーがありました。そして水田前生徒会長からの言葉、式歌「さよなら友よ」を歌い、最後に校歌を斉唱しました。

本当に短い時間ではありましたが、楽しく時間を過ごすことができましたし、3年生との別れを惜しむ言葉がたくさん聞かれました。



4月の行事

日	曜	行事等
4月		
6	木	PTA新旧総務企画委員会
7	金	第1学期始業式 赴任式 給食なし
10	月	入学式準備
11	火	入学式
12	水	1年生知能検査 2、3年生課題テスト 給食開始(1年生)
13	木	2、3年生課題テスト 第1回地区委員会(PTA)
14	金	第1回全校集会(総務認証式) 生徒会入会式 部活動紹介 PTA学級役員選出
18	火	3年生全国学力・学習状況調査(国数英) 2年生佐賀県学習状況調査(国英数)
19	水	第1回学年集会 家庭訪問(1日目)
20	木	家庭訪問(2日目)
21	金	家庭訪問(3日目)
24	月	第1回各部委員会
25	火	家庭訪問(4日目)
26	水	第1回生徒集会 部活動編成
27	木	家庭訪問(5日目)
28	金	家庭訪問(6日目) 安全点検
29	土	祝 昭和の日

☆ 現段階での予定ですので、変更の可能性もあります。詳細は学校から配付するプリント等をご覧ください。

令和4年度 第65回卒業証書授与式

3月10日に、第65回卒業証書授与式を行いました。平方副市長様、教育委員の皆様、そして保護者のご臨席の中で実施することができ、本当に嬉しく思いました。また、今回は2年生も参加し、来年の自分の姿を思い描いているようでした。

十分な準備期間が確保できませんでしたが、卒業生の凜とした態度、成長した姿を見ることができ、本当に感動的な卒業式となりました。

(式辞 概要)

《卒業証書の重み》今、手にした卒業証書には、皆さんが仲間と共に学び、共に活動し、何事にも懸命に取り組んで生み出した数々の喜びや感動、迷い悩んだことを乗り越えてきた歩みをたたえるものでもあります。卒業生の皆さん、忘れないでください、この証書の重みを。

《神崎中学校のリーダーとして》

この3年間は、まさに新型コロナウイルスに翻弄された3年間でした。ただこのような状況下でも、自分たちができることを精一杯やってきたこと、特にこの一年間、神崎中学校のリーダーとして、全校生徒を引っ張り、また、下級生の手本となる姿を見せてくれました。このことで、**長い歴史と輝かしい伝統を持つ神崎中学校の新たな歴史を刻んでくれました。**

《先生方の思い》先生方からは「行事等は何とか実施させてほしい。これまで様々な行事が中止され、つらい思いをしてきた生徒に思い出を作ってあげたい。」と強く要望されました。その言葉から、皆さんのことを大切に思う、熱い思いがひしひしと伝わってきました。

《卒業生に伝えたいこと》**自分が1年後、10年後、20年後になりたい自分の姿を思い描いて、その実現に向けて歩みを進めてほしい**と思います。時には、壁にぶつかることもあるでしょうが、その壁に向かって挑むことを恐れなくてください。未来はいつの時代も、夢や希望、理想を追い求めて努力を重ねた先にあるのです。

東井義雄先生の言葉

若者は夢を持って 夢を実現するための計画を立てよ 計画に従って努力をせよ

努力は 必ず成果をもたらす 成果のあるところに感動がある

その感動の先に 次の夢が生まれる 人生は 夢と感動の連続である

次は、**感謝する気持ちを持ち続ける**ということです。この3年間振り返ってみて、皆さんを温かく見守ってしてくれたのは何と言っても家族です。今日、必ず家族の方の手をしっかりと握り、あなたたちを15年間育ててくれた苦勞を手で感じ、「これまでありがとう。無事に卒業することができました。」と感謝の気持ちを口に出して伝えてください。

《保護者の皆様へ》中学校の3年間は、悩みも多く、多感な時期で、心配の種は尽きなかったことと思います。けれども、子どもたちは様々な困難を乗り越え、立派に成長しました。この3年間、時には反抗したり、心配をかけたことでもあると思います。ただ子供たちは、皆さんの愛情をしっかりと感じています。それを表したある中学生の三行詩を3つ紹介します。ここにいる卒業生も同じ気持ちだと思います。

・心が深く傷ついたときでも 家に帰って、ごはんを食べて、

次の日起きれば、もとどおり。家族は僕の絆創膏

・反抗期 それがすぎたら、反省期 お母さん、いつも言いたいありがとう

・父さんが いつも言う 今日の学校どうだった

毎日きかれるこの一言 めんどくさいけど ありがたい

これまでの三年間、本校の教育活動に対しまして、格段のご理解とご支援、ご協力を賜りありがとうございます。心より感謝申し上げます。

《結に》卒業してからも、皆さんが、幸せな人生を歩むことを心から祈っています。皆さんが一生懸命に目標に向けて進んでいく限り、私たちは皆さんに心の中で**ずっとずっとエールを送り続けています**。輝く未来に向けて、この神崎中学校で過ごした日々を心の糧にして、**力強く、誇り高く、羽ばたいてくれることを期待し、私のお祝いの言葉**といたします。